

鈴鹿ベイロータリークラブ

例会日 木曜日 18:30~19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



Rotary

ロータリー：
変化をもたらす



第1270回 例会報告（2017年9月7日）

夏季親睦例会

クラブ奉仕

■司会 / 中野 強 SAA

■ロータリーソング / 君が代、奉仕の理想

■会長挨拶 / 大泉博典 会長

メンバーのみなさまには昨週のIMに出席いただきありがとうございました。

研修と親睦の場を意味するIMでは、第一部では「我がクラブの活動報告」では宮崎さん谷田さんには、クラブの活動報告をしていただきありがとうございました。

鈴鹿ベイRCの事業は1995年から続く柔道大会、そして1997年から続く卒業記念植樹、それと「おじさん先生」「FIの友愛の広場」とパワーポイント等でわかりやすく報告をしていただき、ありがとうございました。第二部では川岸さんには「これからのロータリー活動」についてのパネルディスカッションではありがとうございました。

ロータリーの基本の一つ青少年奉仕にロータリーの精神が若い人に伝わっていかねばいけないと思います。懇親会後のエレベーターの中で私と幹事とガバナーの三人になり今日の川岸さんの話が良かったと頑張ってくださいとお言葉をいただきました。

皆様ありがとうございました。

■幹事報告 / 磯部弘生 幹事

1. 9月のロータリーレートは、109円です。
2. 直前ガバナー事務所より、2017年8月末日で、事務所閉鎖のお知らせが届いております。
3. 国際ロータリー出版物日本語版の注文書が届いております。問い合わせは事務所へ。
4. ガバナー補佐 河田勝正様及び鈴鹿西ロータリークラブ会長川岸光男様、IM実行委員長服部高宣様より、国際ロータリー第2630地区、2017~2018年度鈴鹿・亀山グループインターシティミーティング、ガバナー公式訪問合同例会の御礼状が届いております。
5. 例会終了後、理事役員会を開催させていただきます。
6. 本日の会費にて、余った分は、ニコボックスに入れさせていただきます。
7. 7ベイロータリークラブ友好会（神戸大会）開催予定日は、2018年5月12日（土）～13日（日）です。

■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
9月7日	12名	10名	2名	83.33%

2週間前の補正後出席率 12名中 10名 83.33%

■例会 / 夏季親睦例会

続いた暑い日も一段落し、鈴鹿ベイロータリークラブの会員がプライベート・お仕事・ロータリー活動と隔たり無く語り合える時間を持ちました。人々それぞれの立場をいたわり合い尊重し、自然にも社会にも優しい活気あるクラブであり続けたいと感じました。

会場を提供していただいた中野会員とお店の方々に感謝します。(会長；大泉博典)

■9月ロータリーの「基本的教育と識字率 向上月間」にちなみ

地区奉仕プロジェクト部門では、国際奉仕小委員会と共に、国際ロータリーが勧める6つの重要項目のひとつである「基本的教育と識字率向上」のために、グローバル補助金制度を利用して、活動を起こそうとしています。どんなことをするのか、それは「学校のトイレの扉の修繕事業」です。

私は以前、タイの村はずれにある、まっ小ぎれいな小学校へ視察に行きました。在校生が100人くらいの小学校でしたが、校舎などは比較的整えられていました。しかし、校舎の脇にあるいくつかのトイレを見たときには、本当にびっくりしました。何がびっくりしたかと言うと、トイレの個室部分の扉がすべて壊れていて、長い間そのトイレが使われた形跡がありませんでした。

すると地元のロータリアンが手招きをして、「校庭の周りにある小さな穴を見ろ」と指さしました。その穴の意味は、大体の察しはつきましたが、近づいてよく見ると、やはり子ども達の排使用の穴でした。私が先生に「この辺りの便は比較的新しいですね」と質問したら、トイレが使えないので、多くの生徒は校庭の周りに生えている木の陰で用を足すんですよ」答えが返ってきました。

私が驚いたのがその後に続いた言葉でした。それは「しかし、最近は女の子が少なくなつて、このような穴は少なくなりましたけどね」と言う返事でした。

私たちは「基本的教育と識字率向上」のために、グローバル補助金制度を利用して、「学校のトイレの扉の修繕事業」を起こそうとしています、と言いました。なぜ「学校のトイレの扉の修繕事業」と「基本的教育と識字率向上」が関係があるのでしょうか。

答えは、簡単です。学校のトイレの扉が壊れていると、恥ずかしくてトイレに行けない。男の子は外でできるけど、女の子はだんだん恥ずかしくなつて学校へ来なくなる。結果、子供たちの「基本的教育と識字率向上」に支障がでてくる、ということです。

近い将来、私たちのこの活動が、その地域子ども達が何の障害もなく教育を受けられ、将来大きく育つ一つの要因になってくれば、と深く思い、この活動をやり遂げなければならないという責任を感じます。私たちロータリアンが、それぞれ必要と考える分野で、得意な技術や知恵を出し合い、ロータリーを通して世界に変化をもたらせば、と思います。

